

SBC 土壇場での同点劇！

SBC 5 - 6x 某JC

平成26年8月30日、東邦スタジアムにてSBC（ソフトテックスベースボールクラブ）対某JCとの試合があった。

SBCは最終回の表、1-5で劣勢の中、打者9人による猛攻を見せ、4点を奪い返し一時は同点に追いついたものの、その裏の相手の攻撃でサヨナラ負けを喫した。

エース床島は今季最長となる4回を2失点でまとめたものの打線から援護をもらうことができず苦い敗戦となった。

気合のヘッドスライディング 田岡

最終回2アウト満塁のチャンスで田岡に打順が回ってきた。前回の試合では、良い所が見せられず途中交代をしていた。そして今回、名譽挽回のチャンスが訪れたのである。

2ストライクと追い込まれた後、思いきってバットを振りぬいた。ボールはポテポテのサードゴロだったものの、自慢の俊足を飛ばした。サードも慌ててボールを取り、1塁へ送球。田岡の足が速いかボールがファーストのミットに着くのが早いか緊張の瞬間。その時だった。田岡は1塁ベースへ気合のヘッドスライディングをみせた。判定は、セーフ。送球が逸れる間に2人のランナーが生還し、5-5に追いついた。

初試合で初ヒット 外林

外林は人生で初めて野球の試合に出場した。迎えた第3打席。相手投手のストリート完璧に捉え、綺麗なセンター前ヒットとなった。

試合後、「野球ってサッカーとはまた別の面白さがありますね！」と言っていた。野球をしてきた者にとってはこのうえない言葉である。発展途上である外林にはこれからの成長にも

期待したい。

チーム唯一の2安打 河野（章）

河野はこの日3番キャッチャーで出場した。打ってはチームで唯一の2安打、守っては3人のピッチャーの女房役を務めた。SBCのチームの要と言っても過言ではないだろう。

華麗なるダブルプレー

1回裏ノーアウト1塁。2番打者の打ったボールをセカンドがキャッチし、すかさず2塁へ送球。ボールを受け取ったショートの1塁へ送球。これで4・6・3（西田（宏）↓石神↓日高）のダブルプレーが完成したのである。相手チームのチャンスを摘み取った。

SBC設立以来、2試合目の試合となった。前回の試合と比べ少しは野球っぽくなってきた気がする。しかし、打撃、守備とも疎かな部分はまだまだ多い。経験を積み、個々のレベルを上げ、チーム一丸となり初勝利へ向け、これからも頑張っていきたい。



今回の練習試合は10月を予定しております。冷やかしや野次も熱烈大歓迎ですので一人でも多くの方に試合に足を運んで頂けるととても嬉しいです！！

次こそは勝つ！！！！

打順	守備	氏名	打席	安打数	打点	四死球
1	三	外林良規	3	1	0	0
2	二	西田宏伸	3	0	0	0
3	捕	河野章吾	3	2	0	0
4	遊	石神良梧	3	1	0	1
5	投	床島信二	3	1	1	0
6	中	富永翔太	3	1	0	0
7	一	日高直人	3	0	0	1
8	右	西田悠一	3	0	0	0
9	左	田岡和也	3	0	2	0
10		河野哲二	3	0	0	0
11		工藤友章	2	0	0	0
12		木原伸治	2	1	0	0
13		大下聡一郎	2	1	0	0

[試合結果]

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	計
SBC	0	0	0	0	1	0	0	4	5
某JC	0	0	1	0	2	0	2	1x	6

[投手成績]

氏名	投球回	失点
床島	4	2
大下	2	2
富永	2	2



【☆マネージャー募集中☆】

○仕事内容

試合風景の写真撮り・簡単な得点や安打数の記載

*野球のルールが分からない方でも記入できる簡単な作業です。

(記者: 西田宏伸)

【第2回 SBC速報】